



10/19

Donguriをまきました

町緑化推進委員会（山澤嘉禮会長）主催の Donguri の苗畑づくりが標茶高校の圃場で行われました。Donguri の苗畑づくりは、町の木ナラを町内で広く普及させることを目的に取り組んでいます。同委員をはじめ、みどり保育園の園児、標茶高校の生徒ら約50人が参加し、町内で採取した約1500粒の Donguri をまきました。生育した苗木は町内の植樹活動で利用されます。



10/3

健康づくり体験を楽しみました

第20回標茶町健康まつりがふれあい交流センターで行われました。今回は標茶高校の生徒14人の協力を得て、恒例の体力測定や骨密度測定をはじめ、ふれあい入浴の足湯体験、ベビーマッサージなどさまざまなコーナーを実施し、子どもからお年寄りまで健康づくり体験を楽しみました。



10/24

まちをきれいにしました

「自然の番人宣言」第9回不法投棄クリーン作戦が町道阿歴内遠野線で行われました。現場にはパラボナアンテナやテレビなどの大型ごみなども捨てられており、合計760kgのごみを回収しました。



10/12

爽やかな汗を流しました

第38回標茶町ファミリーマラソン大会（町体育協会主催）が標茶町河川敷グラウンドで開催されました。幼児から大人まで約150人が1～5 kmのコースを走り、スポーツの秋を楽しみました。



10/30

人権啓発講演会が行われました

町自治会連合会研修交流会・人権啓発講演会がコンベンションホールういずで行われました。落語家の林家うん平氏が「心で学ぶ楽しい人権」と題して講演を行い、小学校時代にいじめを受けていたことや、落語家を目指したきっかけなど、実体験を交えながら人権を守る大切さを語り「地域のリーダーとして人権の大切さを広めて欲しい」と参加者に呼びかけました。また、講演会の最後には落語が披露され、笑いが会場にあふれました。



10/16

全道大会での活躍が期待されます

標茶中学校陸上部は、第22回釧根駅伝競走大会にて好成績を収め、10月18日に新得町で行われる第33回北海道中学校駅伝大会に出場を決め、その報告に役場を訪れました。木下碧澄君（3年）は「悔いの残らないよう全力で頑張ります」と意気込みを語ってくれました。

ありがとうございます

7/17
10/15



市橋建設（釧路市・川村利明代表取締役）の皆さんが地域貢献活動として、磯分内小林コミュニティハウス周辺の草刈りをしてくださいました。

9/11



9月13日に開催された産業まつりの地域貢献活動として、丸栄組（氣仙英二代表取締役）の皆さんが作業車とともに準備作業を、五十石地区連絡協議会（川村利明代表）の皆さんが仮設トイレを提供してくださいました。

10/27



あすなる道路東営業所（今敏次所長）の皆さんが地域貢献活動として、沼幌小学校のグラウンドの整地作業と敷地内のごみ拾いをしてくださいました。

町内在住のカメラ愛好者の方へ

町内で行われたイベントや明るい話題など、何でも結構ですので、写真の投稿をお待ちしております。

役場企画財政課地域振興係
「投稿写真コーナー」



11/3

町の発展に貢献されました

平成27年度標茶町総合表彰式がコンベンションホールういずで開催されました。今年度は地域の文化活動の発展に貢献した教育文化功労が2人、50年以上町内に住んでいる在住者功労表彰が63人、町に土地を寄贈された1人に善行表彰、消防団員として20年以上在職された5人に勤続表彰、老人クラブ役員として10年以上貢献された福祉基金条例施行規則顕彰に8人が表彰されました。

おめでとうございます

10/13



野崎好文さんが旭日単光章を受章され、伝達式が役場で行われました。野崎さんは、昭和46年から平成3年まで、20年にわたり町議会議員を務められたほか、町社会福祉協議会理事や保護司などを務められました。

11/11



標茶縄文会（渡辺幸子会長）が北海道文化財保護功労者に選ばれ、その報告に役場を訪れました。同会は子どもたちに縄文文化を伝えようと、平成18年に活動を始めました。本町にある縄文遺跡の解説看板の設置や子どもの夢を育てるまつりで、勾玉づくりの体験コーナーを開催するなどの活動をされています。